

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and financial position. Includes details for 'わくわくチャレンジ' project and budget breakdown.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about Saturday activities for children and staff roles.

Table with 2 main columns: ①手段 (担当者の活動内容) and ②対象 (誰、何を対象にしているのか). Includes sub-tables for activity indicators and target indicators with numerical data for 29, 30, and 01 fiscal years.

Table with 2 main columns: ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) and ④成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for participation numbers and ratios.

Table with 2 main columns: (3) 投入量 (事業費) の推移 and (4) 当該年度の実施内容. Includes a detailed breakdown of expenses and personnel for 30 and 01 fiscal years.

Table with 2 main columns: (4) 当該年度の実施内容 and (5) 当該年度の実績. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	「わくわくチャレンジ」推進事業	事務事業No.	20303000652	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

学校週5日制が完全実施されたが、土曜日を必ずしも有意義に過ごしていない子ども達も少なからず存在するとの指摘がある中で、子ども達にとってより豊かで有意義な土曜日を実現するために、桜川市では平成26年度より「わくわくチャレンジ」事業が開始された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

家庭ではなかなかできない体験を親子でできる機会もてる。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子ども達が地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	茨城県の「土曜日の教育支援体制等構築事業」に則り実施している事業であるため、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	まだまだ参加率は低いので、子ども達が求めているような内容を考えることで参加率を上げることができると考える。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	土曜日を有意義に過ごしている子どもとそうでない子どもの教育格差が開いてしまう。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) →	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	市内の児童を対象としていることから、連携は可能であると考えます。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	講師謝礼や安全管理員の賃金は最小限で行っており、事業費の削減は難しい。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担として、材料費が必要なものに関しては参加者から材料費を徴収している。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	子ども達の多様な興味関心を高めるような魅力的な内容を計画したい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
事業によっては参加者が募集人員の1割にも満たないものがあり、本年度後期より参加募集が10人未満の場合には事業実施しないこととした。次年度以降においても、10人未満の事業については開催しないこととし、事業の見直しを行う。また、参加児童の固定化もみられることから、幅広く参加してもらえる事業の実施を考慮していく。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>